

Der Brückenpfeiler

2024年11月

Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です



公益財団法人 日独協会 情報紙
Japanisch-Deutsche Gesellschaft
2024年11月1日発行(不定期発行)
編集責任: 柚岡一明(編集長)公益財団法人 日独協会
〒160-0016東京都新宿区信濃町18-39マヤ信濃町2番館
Tokyo, Shinjuku-ku, Shinanomachi 18-39, Maya Shinanomachi Nr. 2

TEL 03-5368-2326 / FAX 03-5368-2065 Website: http://www.jdg.or.jp Mail:jdg@jdg.or.jp



日独協会からのお知らせ

*ドイツ語講座 2024年度下半期コース開講!

10月から協会のドイツ語講座の下半期コースが開講しました。協会のドイツ語講座はオンライン開催(一部対面開催あり)のグループレッスンです。協会が信頼を置く講師陣は教える事に熱心な先生ばかり。受講生の成長だけでなく、楽しんで学ぶことにも重きを置いています。

空席のあるクラスに関しては、体験受講や途中入講も受け付けています。詳細は事務局までお問合せください。

* 研修生交代

髙山フロリアンさんの研修が 9 月末で終了し、10 月からエリザベト・ハーライター(Elisabeth Harreiter)さんの研修がはじまりました。エリザベトさんには 3 月末まで日独協会の活動をお手伝いいただきます。本紙に彼女のインタビューを掲載しております。

* イベント情報

11月1日(金)から4日(月・祝)にかけて、都立青山公園で「ドイツフェスティバル 2024」が開催されます。ドイツの食事や飲み物、雑貨の販売や、ドイツ関連団体による情報提供ブースの出店が予定されています。様々なステージプログラムやワークショップも行われる予定です。日独協会は11月2日(土)に参加し、オリジナルグッズの販売とドイツの古い文字を書く体験イベントを行う予定です。ぜひお立ち寄りください。https://www.deutschlandfest.com

* 第33回青梅宿アートフェスティバル開催のお知らせ

日時: 2024年11月16日(土)~17日(日)10:00~16:00

多彩なアーティストや音楽が青梅宿の町に溢れます。青梅・ボッパルト友好協会は青梅駅近くの 国際交流広場に出店し、ドイツビール、ソーセージ、スープ、ドイツのお菓子等を販売します。会場 では、アメリカ、中国、タイ、インドネシア他、色々な国の皆さんが出店、また舞台で音楽等が披露されます。青梅の紅葉もお楽しみいただける季節です。(公財)日独協会は今年の3月31日に「ぶらドイツ青梅編」で青梅・ボッパルト友好協会と満開の桜のもと楽しい交流会を開催しました。今回も日独協会会員の皆様にぜひお越しいただければ、とのことです。



https://omegocoti.com/omejuku-artfestival2024

協会活動 9月の活動報告

ドイツ語講習会 **2024 年度上半期コース** 火〜日曜日

Deutschkurse in der JDG April 2024 - September 2024 jeden Di. So.

江戸散歩 ~江戸城の外堀を歩く~

9/6 (金) 18:15~19:45

Spaziergang durch Edō: Ein Spaziergang entlang des äußeren Burggrabens der Edō-Burg

Datum: Fr., 6. 9. 24, 18.15-19.45 参加者約 20 名

研修生フロリアンさんは日本の戦国時代の歴史やお 城に興味をもっており、以前から歴史の跡をめぐる散 歩をしたいと考えていました。実際に下見を重ねて、 今回の散歩を企画しました。本来は7月に開催予定だ ったのですが、悪天候のため延期、やっと9月に開催 することができました。

事前予約のいらないイベントでしたので、スタッフは「どのくらいの人が来てくれるかな」と心配していましたが、集合時間になると続々と参加者が集まってくれました。「Hallo Program」という日独の若者交流イベントに参加したメンバーもたくさん参加してくれました。四ツ谷駅をスタート後、駅付近に残る堀の跡をみてから、線路沿いの歩道「外堀公園」を歩いて飯田橋駅まで歩きました。要所要所でフロリアンさんが歴史的な解説をしてくれました。歩きながらおしゃべりしてあっという間に飯田橋にゴール。解散後は、帰宅した人もいれば、二次会に流れた人たち、お友達同士で食事に行かれた人たち、もちを食べてみたいドイツ人参加者と一緒にもち探しに出かけた人たち、といろいろでしたが、皆さん楽しい夏の夕べを楽しんだようでした。







懇談会サロン

テーマ:マルティン・ルターの仕事・思想・影響 9/9 (月) 18:00~19:30 日独協会セミナールーム

Gesprächsalon: Thema "Werk, Gedanken und Einfluss von Martin Luther"

Datum: Mo., 9. 9. 24, 18.00-19.30

Ort: Seminarraum der JDG

講師は江口再起先生。ルター(1483-1546)はドイ ツの宗教改革者。1517年、免罪符をめぐる「95カ 条」の発表によって改革運動が始まりました。それは 当初、改革運動を意図したものでなく、大学内での討 論の呼びかけでしたが、当時発明されたばかりの活字 印刷術のおかげで、またたくまに全ヨーロッパに拡が り、社会全体を巻き込む教会改革の運動になりまし た。しかし、その根底には「塔の体験」といわれる修 道士ルターの信仰上の内面的闘いがあり、ここを理解 することがルター理解の鍵です。それは一言で言え ば、神は人を裁く「怒りの神」でなく、無条件で人を 救う「恵みの神」である、という聖書の真意の再発見 の体験です。そして、ここから「信仰のみ」や「聖書 のみ」のプロテスタンティズムの標語もでてきたので す。ルターはまた後世に大きな影響を与えました。ザ ビエルの来日も、彼の改革運動の産物です。また彼の 聖書のドイツ語訳は今日のドイツ語の基礎となりまし たし、彼の Beruf (召命感) が今日の職業観をつくっ たとも言われています。(木田 宏海)

独逸塾

9/16 (月) 19:00~21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 16. 9. 24, 19.00-21.00

参加者 22 名。テキストは 2024 年 4 月 20 日の

Spiegel 誌 \mathcal{O} "Volkswagen steckt in der

Chinafalle"(中国の罠にはまっている)

1. フォルクスワーゲンは中国で多大の利益を上げてきた。しかしここにきて多くの問題が山積している。 価格競争、ウイグル地区工場での人権侵害、中国からのサイバー攻撃。同社の最大の販売市場である中国が予測できないリスクとなっている。

1) 人権侵害のウイグル地区の工場

フォルクスワーゲンは 2019 年に中国の自動車メーカーSAIC と共同で、トルファンに自動車のテストコースを、2013 年にウルムチに工場を建設した。

2) 工場建設の影響

A.ドイツの大手投資会社 DEKA 及び Union Investment からフォルクスワーゲン株を投資不適格 に引き下げられた。理由はトルファンでの強制労働。B.フォルクスワーゲンの会長 Oliver Blume は、ウイグルでのジェノサイトを無視していると米国から非難を受ける。

3)電気自動車の対応の遅れ

A.中国は電気自動車メーカーに多額の補助金を提供し 育成してきた。

B.フォルクスワーゲンの電気自動車の開発は中国の競合に比して1世代も2世代もモデルジェネレーションが遅れておりこの結果中国のマーケットシェアは自動車全体で2023年10%であったが、電気自動車では3%に過ぎない。

4) フォルクスワーゲンの今後の対応

A.韓国の現代社は二つの工場閉鎖を決定。日産、ホンダも工場の縮小を述べている。

B.フォルクスワーゲンは巨大市場中国に固執し電気自動車の開発機関を中国に設立。ドイツでは 48 か月を要する開発期間を 30~36 か月に短縮することを目指す。ドイツ語の表現で活発な議論があった。

(森永 成一郎)

ドイツ時事問題研究会 第102回

9/21 (±) $15:00\sim17:00$

Studiengruppe "Deutschland aktuell" (102)

Datum: Sa., 21. 9. 24, 15.00-17.00

8月が休会であったため「当月のトピックス」は盛りだくさんになった。主なものは、①ゾーリンゲンにおける市民3人の殺害事件と不法難民対策の強化、②ボローニア改革25年とフランクフルト大学学生グループによる評価、③金属・電機労働組合が今年も7%の賃上げを求めて使用者側との交渉を開始、④ドイツにおける選択的夫婦別姓の実情、⑤景気後退とフォルクスワーゲン(VW)社の経営不振と合理化計画などを取りあげ、VWについてはメンバーの椎名猛さんからも背景事情など説明いただいた。

「今月のテーマ」では、「東部2州の選挙結果と社会的背景」と題して、伊崎から研究機関の報告などをもとに「自らの利益を損ねるとみられる政党に投票する有権者の実態など」について、新井氏から過激派が急増し選挙結果が大変動と伝える欧州諸国の主要紙の報道ぶりについて報告し、質疑応答を行った。

(伊崎 捷治)

シュプラッハトレッフ(日独言語交換会)

9/21 (±) $19:00\sim20:40$

Sprachtreff

Datum: Sa., 21. 9. 24, 19.00-20.40

今回は私が担当する最後の Sprachtreff でした。参加者は 30 人でドイツ人 13 人、日本人 17 人でした。今月のテーマは「夏休みはどのように過ごしましたか?」と「音楽について話しませんか?」の2つでした。これらのテーマについて事前に語彙リストを用意して、参加者が新しい言葉を使う手助けをしました。

私は、参加したグループでドイツで使われているドイツ語とオーストリアで使われているドイツ語の違いについて話して、ウィーンの喫茶店文化と最近のアルプスに降った雪についても議論しました。

10月からフロリアンの研修が終わり、エリザベト さんの研修が始まります。みなさん、半年間ありがと うございました。エリザベトさんもよろしくお願いし ます。(高山 フロリアン)

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

Veranstaltungen

催物案内

(公財) 日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。

- ① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
- ② 事前申込制・先着順の受付となります。
- ③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ いただいた個人情報はイベント開催に関するお手続き以外には使用いたしません。

日独協会の概要及び催物最新情報はホームページでもご覧頂けます。 ► http://www.jdg.or.jp

問合せ E-mail:jdg@jdg.or.jp Tel.: 03-5368-2326(月~金 14:00~17:00)Fax.: 03-5368-2065

◇ドイツフェスティバル 2024 参加◇

日程:2024年11月1日(金)~4日(月・祝)※協会出店日は11月2日(土)のみ(17時頃まで出店予定)

会場:都立青山公園

公式サイト: https://www.deutschlandfest.com/ 主催: ドイツフェスティバル実行委員会

日独協会は 11 月 2 日(土)に参加し、オリジナルグッズの販売とドイツの古い文字を書く体験イベントを行う 予定です。ぜひお立ち寄りください。

◇(対面+オンライン)ドイツ語圏文化セミナー166

プロイセン視点から『超約 ドイツの歴史』を「跳躍」してみる◇

講師:柳原伸洋先生(東京女子大教員、ドイツ現代史)、藤井未琴さん(早稲田大学・院、ドイツ近世史)

日程: 2024年11月8日(金)日本時間19:00~21:00

開催方式:対面+オンライン(ZOOM)のハイフレックス式 ※ 対面開催の会場は日独協会セミナールーム

会費: (公財) 日独協会会員・ドイツ語講座受講生: 1,500円 / 一般: 2,000円

申込み:協会ウェブサイトのオンラインフォームから、または、件名を「超約 ドイツの歴史 参加希望」とし、

Veranstaltungen

①お名前(フルネーム・ふりがな) ②メールアドレス ③電話番号 ④会員・ドイツ語受講生/一般の区分 ⑤希望の参加方法(対面/オンライン)を明記の上メールにて deutschkurs@idq.or.jp 宛てお申し込みください。

イギリスやドイツでベストセラーとなっているジェームズ・ホーズ『超約 ドイツの歴史』(東京書籍 2024 年)の翻訳書の出版を記念して、「ドイツ近世史(ブランデンブルク=プロイセン史)の若手研究者による研究紹介、そして監訳者からの「プロイセンの言い分」的な読み解きを通じて、本書について考える文化イベントを企画しました。プロイセン・ファンの知的欲求を満たしつつ、心の癒し的なイベントとしたいと思います。(柳原伸洋先生)」

◇ (対面) 日独間クロスボーダー年金課税セミナー ~ドイツの年金を受給されている方へ~ (会員限定) ◇

講師:池田良一氏(ドイツで37年にわたり税務コンサルタントとして活躍)

日時: 2024年11月11日(月) 18:00~19:30 申込期限:11月5日(火)まで

会場:日独協会セミナールーム

会費:無料 **定員**:20名

お問合せ窓口:(公財)日独協会 理事 森 宏之(もり ひろゆき) jdg@jdg.or.jp

申込み:協会ウェブサイトのオンラインフォームから、または、件名を「年金課税セミナー参加希望」とし、 ① お名前(フルネーム・ふりがな) ②メールアドレス ③電話番号 ④会員番号を明記の上、メールにて jdg@jdg.or.jp 宛てにお申し込みください。

ドイツから年金を受給している会員の方へ。最近ドイツから、年金への課税のお知らせが来ています。この制度の概要と対処法についてのセミナーです。

◇ (対面) 第4回 ドイツの詩をドイツ語で朗読する集い◇

日時: 2024年11月14日(木曜日)14:30~(開場: 14:00)

会場:ベヒシュタイン・セントラム 東京ザール(東京都千代田区有楽町 1-5-1 日比谷マリンビル地下 1 階)

TEL. 03-6811-2925(熊田)

会費:500円 (会場費として)

世話役:藤田 明先生(日独協会評議員)

※当日朗読を希望される方は、訳詞を印刷しますので藤田先生(携帯 090-2523-5040)までご連絡ください。

申込み:協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

朗読の後、お茶を飲みながらの懇親会も予定しております。ドイツ語の言葉の美しさ、詩についてご興味のある 方のご参加をお待ちしております。

◇ドイツ語圏文化セミナー167「ベルリンで暮らす、働く 2

~四者四様、日本人ベルリナーたちのホンネ de 座談会~」◇

日程: 2024 年 11 月 15 日 (金) 日本時間 19:00~21:00 ドイツ時間 11:00~13:00

会費:(公財) 日独協会会員・ドイツ語受講生:無料 / 一般:1,500円

申込み:協会ウェブサイトのオンラインフォームから、または、件名を「ベルリンで暮らす、働く2参加希望」とし、①お名前(フルネーム・ふりがな) ②メールアドレス ③電話番号 ④会員・ドイツ語受講生/一般の区分を明記の上メールにて deutschkurs@jdg.or.jp 宛てお申し込みください。

ソフトウェアエンジニアに保育士、日本酒/焼酎インポーター、フリーランス映像ディレクターといった日本人ベルリナーが移住の実情を語り合います。ベルリンの街や移住に関心のある方におすすめのセミナーです。

◇ドイツ時事問題研究会◇

日時: 2024 年 11 月 16 日(土) 15:00~17:00 申込期限: 開催 2 日前まで 会費: 無料テーマ: 毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ(複数可)を決定 定員: 20 名

世話人:伊崎 捷治 理事、新井 俊三 氏

申込み: 事前にメールで参加申込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。

世話人連絡先 Tel.: 080-1137-5111 E-mail: isakis(a)snow.ocn.ne.jp ※ (a)は@に書きかえて下さい

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野で関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながらドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて討論しましたが、これからもコロナ危機の克服、経済再活性化、ドイツが EU の強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを採りあげていきます。

◇Sprachtreff(シュプラッハトレッフ) **◇**

日時: 2024年11月16日(土)日本時間19:00~20:40 ドイツ時間11:00~12:40

会費:(公財)日独協会会員:無料 / 一般:2,000円 定員:50名程度

担当:エリザベート・ハーライターさん、芦野 淳子さん

参加条件:語学交換を積極的に楽しみたい方(目安レベル: A1.2 以上) **申込み**:協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Veranstaltungen

Sprachtreff はオンラインで開催している語学交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語と ドイツ語で 40 分程度ずつおしゃべりをします。(上級はテーマと言語の時間指定はありません)。また、B1 レベ ルまでのグループにはサポーターが付き、会話のお手伝いをします。

◇独逸塾:「ドイツのニュースを楽しむ会」

日時: 2024年11月18日(月)19:00~21:00 (18:30からオンライン上で開場)

申込期限:開催前週の金曜日まで 会費:無料

世話人:森永 成一郎 氏

申込み:新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会までメール (jdg@jdg.or.jp) でお申込みください。

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一通 り終えた方向けで(新聞記事には間接話法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう)、 「お試し参加」、聴講のみも可能です。

◇ (対面) ドイツ・オーストリアの秋の味覚、フェーダーヴァイサー/シュトルムを味わおう 8◇

日時: 2024年11月23日(土・祝) 15:00~16:30 (開場:14:45)

会場:日独協会セミナールーム

会費:【A】イベントチケット(白・ロゼ各1杯+お好みの1杯&ドイツパン): 会員 2,700 円/一般 3,700 円

- 【B】お土産付き(白&ロゼ 各1本)イベントチケット : 会員 6,900 円/一般 7,900 円
- 【C】お土産付き(白1本)イベントチケット: 会員 4,900円/一般 5,900円
- 【D】お土産付き(ロゼ1本)イベントチケット : 会員 4,900円/一般 5,900円

定員:30名(要事前申込)

申込:協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申し込みください。

フェーダーヴァイサー(オーストリアではシュトゥルム)はワインになる手前の発酵途中のお酒です。季節限定の 上、長期保存や長距離輸送ができないため、ドイツ国内でも知る人ぞ知る秋の味覚を今年も一緒に味わいましょ う!イベントの詳細は協会ウェブサイトをご覧ください。https://www.jdg.or.jp/kds168_20241123/

◇ (対面) 懇談会サロンテーマ「ニーチェに関する一考察」

日時:2024年11月25日(月) 18:00∼19:30 **申込期限:**11月22日(金)

会場:日独協会事務所内セミナールーム

講師:中村 憲治先生(論文「初期のニーチェにおける芸術家について」「ニーチェから日蓮へ<樗牛の場合>」)

会費:無料 定員:24名 世話人:佐藤 勝彦 理事

申込み:お名前、(公財)日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の佐藤理事まで メールでお申込みください。世話人連絡先:s-kmtaym(a)nifty.com ※ (a)は@に書きかえて下さい

ニーチェについて考えるには、多面的に考察する必要があると思います。哲学史的、文学史的、そして他の思想 との比較と言う視点も加えれば、より興味深くなると思います。また後世にどのような影響を与えたかも無視出 来ないでしょう。これらを踏まえてかなり大雑把ではありますがお話ししたいと思います。

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

- 1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
- Sofern notwendig müssen Anmeldungen im Vorraus erfolgen. Anmeldungen werden von uns der Reihe
- Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können. Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (http://www.jdg.or.jp).

E-Mail: jdg@jdg.or.jp Tel.: 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14.00~17.00 Uhr) Fax.: 03-5368-2065

Sprachtreff (Online-Gruppentandem)

Datum: Samstag, der 16. November 2024, 11.00-12.40 Uhr deutscher Zeit (19.00-20.40 Uhr japanischer Zeit) Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 50TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn ihr bereits in der Lage seid, euch aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht habt. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf eure Teilnahme.



新研修生エリザベト・ハーライター(Elisabeth Harreiter)さんインタビュー 10 月からエリザベトさんの研修が始まりました。3 月末まで協会の業務、イベントをお手伝いしていただきます。エリザベトさんは生粋のウィーンっ子。この半年間、ウィーンやオーストリアの文化を教えてもらえそうです。

出身

私は、生まれも育ちもウィーン。ずーっとウィーンに住んでいます。大学に入る前に観光専門学校(Tourismusfachschule)に通って卒業しました。その学校のプログラムでアイルランドとベルギーのホテルで数か月研修をしたことがありますが、それ以外はずっとウィーンで過ごしてきました。実家は5区にあります。古い建物が多く美しい地区です。今は姉と一緒に9区に住んでいます。近くに美しい庭園(Liechtensteinpark)があり、そこでピクニックしたり、本を読んだりしてリラックスするのがお気に入りです。

ウィーンの自慢は、歴史的な建物、文化的な活動が多いこと、地下鉄やトラムなどの交通網が発達していて便利な事です。 コンサートやミュージカルに行くのが好きです。

趣味・特技・好きな食べ物

読書が好きで、いろんな本を読みますが、特に好きなのがファンタジーや歴史の本です。今読んでいるのは"The Lord of the Rings"(『指輪物語』)の6巻目。1年かけてようやく最終巻まで来ました。日本の小説も読みます。これまで、夏目漱石の『坊っちゃん』や三島由紀夫の『金閣寺』を読みました。日本人作家で一番好きなのは横溝正史で、『犬神家の一族』、『八つ墓村』、『本陣殺人事件』、『獄門島』をドイツ語で読みました。絵を描くのも好きです。

好きな食べ物は「ツナマヨおにぎり」! 6年前に初めて日本を旅行した時に、ツナマヨおにぎりに出会い、毎日コンビニで買って食べました(笑)。

日本への関心

小さいころからスタジオジブリの映画を観たり、親の持っていた DVD でドラマ 『Shogun (将軍)』を観て、日本に興味をもちました。日本の歴史の中では、特に 戦国時代に興味があります。日本について学べば学ぶほど、更に日本への興味がわいてきます。

日本語学習

ウィーン大学の日本学科に入学して、日本語知識ゼロから勉強を始めました。大学では1週間でひらがなとカタカナをマスターしなくてはならず大変でした。最初、大学では文法をオーストリア人の先生が、実践的な内容を日本人の先生が教えてくれました。日本人の先生は日本語だけで授業をしたので、最初は大変でした。

文法を一通り学んだ後は、読解、聴解の授業、面接、プレゼンテーションなどの 授業もありました。プレゼンテーションの授業では、着物についてパワーポイント 資料を使って説明しました。とても緊張しました。今は、翻訳学の授業を受けてい ます。翻訳の歴史、方法、AIの影響などについて学んでいます。卒業まではあと 2 学期あり、卒業論文も書く予定です。

ウィーン大学の日本学科には毎年 100 人くらい入学しますが、1 学期目が終わると学生の数が入学時の半数くらいに減ってしまいます。それからも学期が終わるごとに人が減ってしまい、最終的には 25 人くらいになってしまいます。私が今も日本学をやっているのはすごいことなんです! (笑)

研修中にやってみたいこと

協会のイベントを手伝ったり、会員と交流することを楽しみにしています。プライベートでは、日本国内のいろいろなところ、温泉や瀬戸内海の島、北海道などに行ってみたいです!



はじめまして!エリザベトです。



Liechtensteinpark(上は夏、下は冬)





小説のタイトルにもなった有名な階段 Strudelhofstiege は 9 区にあります

会員へメッセージ

会員の方々とお会いして、ウィーンやオーストリアについてお話しすることを楽しみにしています!